

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

明德中学校区 校番 20 明德中学校

a 学校教育目標	〈校訓〉 明るく 仲良く たくましく 〈学校教育目標〉 自ら学び ともに伸びる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 夢や志、挑戦するために必要な力をもった生徒の育成 〈ビジョン〉 生徒を伸ばし、寄り添い、支援する教職員 地域や家庭に信頼される学校
----------	--	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	小中が連携し、個に応じた指導を進めており、学力の向上が図られつつある。学びに向かう姿勢が見られるものの、主体的な学びについてはさらなる充実を図る必要がある。 今年度は、「授業改善の推進」「自己有用感の育成と防災教育の深化」「安心・安全な教育環境の整備」を重点として取組を進める。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	① 知識・技能 ② 思考力・判断力・表現力 ③ 主体的に学習に取り組む態度
-------------	---------------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★	授業改善の推進	① 主体的な学びを実現する授業づくり	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ○子どもが進める「めいとく・トライ」の推進 ○特別支援や生徒理解の視点を取り入れた授業改善 ○ICTの効果的な活用 ○「学習フリータイム」の充実	①授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると考える生徒の割合 ②学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直して、次の学習に繋げることができていると考える生徒の割合	①90% R6 97% ②90% R6 97%						
★★	自己有用感の育成と防災教育の深化	① 個を大切にしたい支援の充実 ② いじめを許さない学校環境づくり ③ 自分の命は自分で守る力の育成	○生徒が主体となる、他者と関わり合う場の設定 ○生徒の「トライ」を見守り、支援する体制づくり ○職員や生徒相互が肯定的評価する(褒める、感謝する)取組 ○SEL(Social and Emotional Learning)の活用 ○生活リズムカードの活用 ○いじめ撲滅キャンペーンの充実 ○家庭・地域を巻き込んだ実践的な防災教育の取組	①自分にはよいところがあると思っている生徒の割合 ②いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う生徒の割合 ③地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う生徒の割合 ④避難する場所や仕方について理解していると考える生徒の割合	①90% R6 91% ②100% ③85% R6 81% ④100% R6 100%						
★	安心・安全な教育環境の整備	① 教職員による不祥事の根絶 ② 働き方改革の推進	○当事者意識を高める服務研修の工夫 ○不祥事防止委員会の充実 ○対話による風通しのよい職員室づくり ○目的に沿った業務の精査 ○ICTの活用	①日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合 ②時間外在校等時間が月45時間以下の教職員の割合	①90% R6 90% ②80%						

【k:評価】

 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60